様式第１号（第６条関係）

諏訪市犯罪被害者等支援金（遺族支援金）支給申請書兼請求書

年　　月　　日

（宛先）諏訪市長

申請者

住所

電話番号

諏訪市犯罪被害者等支援金支給要綱第６条の規定により、次のとおり申請及び請求をします。

１　犯罪被害者の住所及び氏名

　　　住所

　　　氏名

２　犯罪被害者との続柄

　　　□配偶者　□子　□父母　□孫　□祖父母　□兄弟姉妹　□その他（　　　）

３　犯罪被害者と加害者の３親等以内の親族関係

□なし　　　□あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４　犯罪被害者による犯罪行為誘発行為又は責めに帰すべき行為の有無

□なし　　　□あり

５　犯罪被害者又は申請者が諏訪市暴力団排除条例第２条第１号に規定する暴力団若しくは同条第２号に規定する暴力団員に協力し、若しくは関与する等密接な関係を有する者又は同号に規定する暴力団員ではない。

□はい　　　□いいえ

６　過去に諏訪市犯罪被害者等支援金の支給を受けた場合は、その支援金の種類

□遺族支援金　　　□重傷病支援金

７　遺族支援金の支給に係る申請に際し、提出書類により証明すべき事実を市が保有する公簿等により確認することについての同意の有無

□同意します　　　□同意しません

８　遺族支援金の支給に必要な警察等関係機関が保有する犯罪被害者等の個人情報について、市が収集し、提供を受けることへの同意の有無

□同意します　　　□同意しません

９　遺族支援金の支給後に、故意の犯罪による被害でないと判明した場合又は諏訪市犯罪被害者等支援金支給要綱第９条の規定による取消しを受けた場合は、同要綱第１０条の規定により既に支給を受けた遺族支援金を速やかに返還します。

□はい　　　□いいえ

10　申請・請求金額　　　　　　　　　　　　　　円

11　代理申請（代理申請を行わない場合は、記載不要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 代理申請をする理由 |  | | |
| 代理人氏名 |  | 代理人生年月日 |  |
| 代理人住所 |  | | |
| 代理人連絡先 |  | | |

12　振込先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 金融機関名 |  | 店舗名 |  |
| 口座種別 |  | 口座番号 |  |
| （フリガナ） |  | | |
| 口座名義 |  | | |

13　添付書類

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 要否 | チェック欄 | 必要書類 |
| 必須書類 | □ | 犯罪被害申告書（様式第２号） |
| □ | 犯罪被害者の死亡診断書、死体検案書その他当該犯罪被害者の死亡の事実及び死亡の年月日が確認できる書類の写し |
| □ | 申請者が犯罪行為が行われた時において、市民であったことが確認できる書類（住民票の写し、戸籍の附票等） |
| □ | 申請者の氏名、生年月日及び犯罪被害者との続柄が確認できる書類（戸籍の謄本、抄本その他の証明書等） |
| 該当する場合に添付が必要な書類 | □ | **申請者が犯罪被害者と事実婚の関係である場合** |
| 申請者が犯罪被害者と婚姻の届出をしていないが、犯罪行為が行われた時において、事実上婚姻関係と同様の事情にあった者であるときは、その事実が確認できる書類（住民票の写し、犯罪被害者及び申請者の親族、友人、隣人等の申述書等） |
| □ | **申請者が配偶者以外である場合** |
| 申請者が配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含む。）以外の者であるときは、第１順位遺族であることが確認できる書類（戸籍の謄本又は抄本等） |
| □ | **申請者が配偶者以外で、生計維持遺族である場合** |
| 申請者が配偶者以外で、生計維持遺族であるときは、犯罪行為が行われた時において、犯罪被害者の収入によって生計を維持していたことが確認できる書類（犯罪被害者の収入を証明する資料、通帳、家賃・光熱費等の領収書の写し等） |
| □ | **第１順位遺族が複数いる場合** |
| 第１順位遺族が２人以上あるときは、諏訪市犯罪被害者等支援金（遺族支援金）受給代表者決定申出書（様式第３号） |
| □ | **代理人による代理申請を行う場合** |
| 代理人が代理申請する場合は、代理人であることを証明する書類（法定代理人の場合は戸籍謄本等） |
| □ | その他市長が必要と認める書類 |

　　※　□のある欄は、該当する項目に□にレ印を付してください。